

3月9日(火)

シンガポールジェネラルホスピタル NICU、産科外来、癌センター

報告: 富田陽一

---

8:00 NICU 集合。

本日は各自希望の科に分かれて、見学しました。自分たちのグループは三人でNICUを見学しました。病院のセキュリティーが日本に比べて非常に厳しく、病棟に登るエレベータの前では銃を持ったガードマンが常に眼を光らせていました。ネームカードをもし忘れてたら絶対入れてくれるような雰囲気は感じられませんでした。ちょっとバックの奥のほうにあってなかなかネームカードが見つからなかった自分は、ガードマンに不審者を見るような目線でにらまれ、かなりあせりました。無事エレベータを上り、NICUの病棟に朝は8時に到着しました。

8:20 カンファレンス

患児の前で担当のDrがプレゼンテーションし皆で議論しあうというようなスタイルで回診していきました。医師の数が多く10人ほどのDrと回診しました。部屋が非常に大きく、NICUの個室部屋もあり驚きました。回診時ゆっくり説明してもらえばまだ把握することができましたが、議論中にどんどんスピードアップしてしまうとかなり理解は難しかったです。治療方法は日本とあまり変わりはないようでした。カルテは紙カルテでしたが、非常に整理されていて丁寧に書いてありました。先ほどのカンファレンスのときにも感じたのですが、教育が非常に行き届いているような印象を受けました。

10:00 新生児診察(産科病棟)

次に昨日生まれた新生児を診察に行きました。若いDrが診察し、上級医に診察の結果を報告していました。先ほども感じたのですが、非常に教育が行き届いているなど改めて感じました。

10:30 講義

自分たちの担当のDr. Poonによる講義を受けました。シンガポールの医療について、シンガポールの小児科医がどのような仕事をしているかを教えてもらいました。

12:30 ランチ

病院内の職員専用の食堂でランチを購入し、数人の先生方と一緒にご飯を食べました。皆さん非常にフレンドリーで、ぎこちない英語しかしゃべれないにも関わらず、非常に和やかな時間を過ごすことができました。

13:30 産科外来

大きくは日本と変わりはありませんでしたが、診察室は全部完全

個室になっていました。分娩台も日本の様に何台もならんでカーテンで仕切られているのではなく、個室でわかれていました。前日に見学したときもそうでしたが、そういうプライバシーの配慮に対する考え方は日本より進んでいると思いました。

15:00 癌センター

簡単に施設の案内と、概要の説明をしていただきました。非常にきれいな建物で、化学療法、放射線治療や癌研究をこの施設で行っているようでした。正確な数は忘れてしまいましたが、外来治療を受けにかなりの数の患者さんが訪れているようです。

16:00 研修終了

